

第15回福井県嶺南地域流域検討会の審議内容のご紹介

① 笙の川水系の河川整備計画（案）について

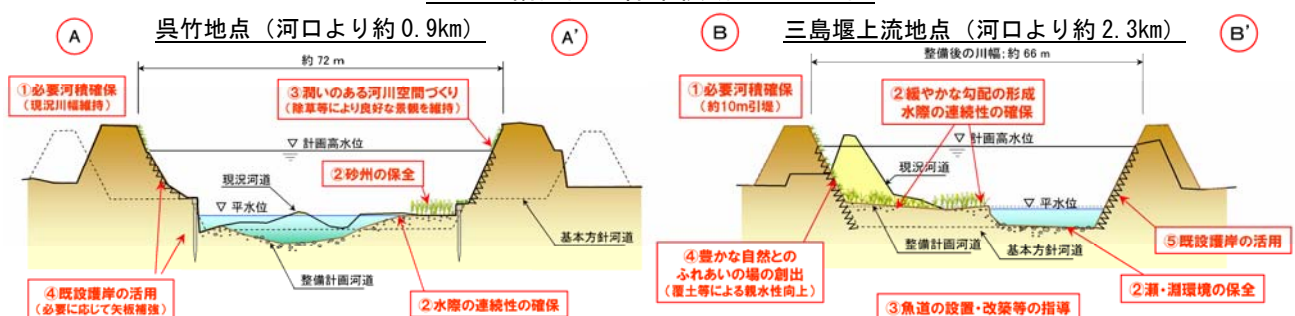
笙の川水系の河川整備計画（案）について、河川管理者から説明が行われました。

- 第14回流域検討会における質問事項の回答について
- 河川整備計画（案）について

◎ 委員からの主な意見

1. 福井県河川・砂防総合情報システムとはどのようなものか？
⇒【事務局】県内の各地点の雨量、河川の水位等がホームページで一般の方も見られるシステムです。今後、河川の映像についても公開し、拡充を図っていく予定です。
2. 「他施策との連携等」については多田川、井の口川等の河川整備計画にも記載してほしい。
3. 橋梁の改築方法はどのようになるのか？
⇒【事務局】橋梁については、将来、引堤時に改築が必要になるため、河川整備計画（案）では必要最小限の補強および桁を上げる等の対応になると考えています。詳細については、今後、調査・検討を行います。
4. 笙の川の本の芽川合流点より下流には、現況堤防高が計画堤防高より低い箇所があり、堤防を高くする必要があると思われるが、堤防の補強を河川整備計画（案）には記載しないのか？
⇒【事務局】堤防が低い箇所は局所的であり、維持管理で対応します。河川整備計画（案）では「河川整備の実施に関する事項」ではなく、「河川管理施設の維持管理」に含まれます。
5. 笙の川の本の芽川合流点から黒河川合流点でも、水際の連続性の確保に努めてほしい。
⇒【事務局】河川整備計画（案）に、その旨を記載します。
6. 河川整備計画（案）の計画高水位と河川整備基本方針の計画高水位は同じか？
⇒【事務局】河川整備基本方針の計画高水位と同じです。
7. 河川環境管理基本計画とはどのようなものか？
⇒【事務局】河川の流域をゾーン分けし、川づくりや川との関わりに関する考え方をまとめたもので、笙の川水系では平成7年3月に策定されています。
8. 日常的に河川に親しんでいる愛好家など、市民の方々からの情報を継続的に収集し、生物調査資料の精度を高めてほしい。
9. 環境フォーラム、水辺会議などの市民団体活動との情報交換、連携を強化してほしい。

河川整備計画 標準横断イメージ図



②早瀬川水系の河川整備について

早瀬川水系の河川整備について、河川管理者から説明が行われました。

- 巻上げ検討の追加検討結果の報告
- 海域への影響検討（濁りは除く）結果の報告

◎委員からの主な意見

◇巻上げ検討の追加検討結果について

1. 今回の巻上げ検討のシミュレーションは、風速を一定であたえて検討しているが、実際の風は吹いたり止んだりし、湖の水は振動を起こす。現在の評価は、ある段階で予測結果を止めてしまった状況を示しているように思えるが、振動（時系列的な変化）をどこまで計算できているのか？

⇒【事務局】内容を確認します。

2. 三方五湖へ行った際、放水路を計画している海山地係で硫化水素臭がした。実体験とシミュレーション結果が異なるのではないかと？

⇒【事務局】異臭は、大気中 1ppm で感じ取ることが出来ます。湖の硫化水素濃度がどの程度になると、空気にどの程度影響があり、人体でどの程度感じるかを整理します。

3. トンネル放水路を整備した場合、平成 11 年洪水の浸水被害はなくなるのか？

⇒【事務局】早瀬川水系は、30 年に 1 度発生する規模の洪水に耐えられる治水計画を考えています。それに対して平成 11 年洪水は 80 年に 1 度発生する規模の洪水です。トンネル放水路を整備することで、平成 11 年洪水の浸水被害は完全にはなくなりませんが、かなり軽減できると考えています。

4. ソフト対策の考え方も必要でないかと？

⇒【事務局】トンネル放水路を整備することにより浸水被害は軽減されます。その結果、浸水被害が軽減されると住居が新築される可能性がありますので、地元自治体による土地利用規制、住民協力も必要です。また、海側への影響および放水路の維持管理に対しても、地元自治体、住民間の協力が必要かと考えます。

◇海域への影響検討（濁りは除く）結果について

5. 環境アセスメントを実施する必要性はないかと？

⇒【事務局】法的には、環境アセスメントの対象ではありません。しかし、海域への影響については、前回までの検討会で説明した調査内容などを、必要に応じて示していきます。

6. 藻場の分布や、あわび、さざえ等の生物の分布等、世久見湾の現状を示してほしい。その上で、放水路の影響があるかを評価したい。

⇒【事務局】次回以降に示していきます。

7. 環境に関する別の会議はあるかと？

⇒【事務局】本検討会で議論して頂き、必要に応じて県の環境審議会などで審議することも考えられます。